



2023年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社 ミダックホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 加藤 恵子
(コード番号：6564 東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 高田 廣明
電 話 番 号 053-488-7173

(開示事項の経過) 株式会社ヤマダホールディングスとの合弁契約締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年7月18日付で公表いたしました「株式会社ヤマダホールディングスとの合弁会社設立に向けた基本合意書の締結に関するお知らせ」に関し、株式会社ヤマダホールディングス（以下「ヤマダホールディングス」といいます。）との間で合弁契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本合弁会社は、当社の持分法適用関連会社となる予定です。

記

1. 合弁会社設立の目的

昨今、経済成長や人口増加、地球温暖化による気候変動などで、環境問題は深刻化し、企業はサステナビリティ課題への対応が迫られています。このような状況の下、当社グループは、上場会社としての社会的責任を自覚するとともに、サステナビリティ社会実現に向け、廃棄物の適正処理を通じて持続可能な循環型社会を構築するための成長投資を続けております。

そして今般、循環型社会の構築と地球環境の保全を目指すことを目的とし、当社はヤマダホールディングスと戦略的共創パートナーシップの関係を構築するとともに、国内における資源循環型インフラ事業への成長投資を積極化させるため、合弁会社「株式会社グリーン・サーキュラー・ファクトリー」を設立するための合弁契約を締結いたしました。

ヤマダホールディングスは、家電を中心とした事業を展開しながら、「暮らしまるごと」戦略に向けて、各事業セグメントにおける成長投資を拡充しております。その中でも、“家電も資源”と捉える同社の環境事業は、グループ内における販売から再製品化までの一連の製品ライフサイクルの一翼を担っており、リユース、リサイクル事業を推進する重要部門となっております。

当社とヤマダホールディングスの協業が実現することで、ヤマダホールディングスが保有する資源循環システムと当社が保有する高度で最適な廃棄物処理能力のより一層の深化が可能になると考えております。また、本合弁会社において、環境対応技術の開発や低炭素・循環型社会の実現に向け、より最適な成長投資を行い、循環型経済圏の構築と利益の最大化を目指します。

2. 合弁会社の概要

(1) 名称	株式会社グリーン・サーキュラー・ファクトリー
(2) 所在地	群馬県高崎市栄町1番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 桑野 光正 〔なお、取締役については、当社より2名、ヤマダホールディングスグループより2名（代表取締役社長 桑野光正を含みます。）の就任を予定しております。〕
(4) 事業内容	資源循環型インフラ事業、廃棄物処分事業
(5) 資本金	90百万円（資本準備金含む）
(6) 設立年月日	2023年9月1日（予定）
(7) 決算期	2月末日
(8) 出資比率	株式会社ヤマダホールディングス 60% 株式会社ミダックホールディングス 40%

3. 日程

(1) 合弁契約締結日	2023年8月14日
(2) 合弁会社設立日	2023年9月1日（予定）

4. 今後の見通し

本合弁会社設立による当期連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、業績予想の修正等、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上